

科目名称	基礎看護学実習Ⅱ（看護過程）	学年学期	単位数	時間数
		第1学年 後期	2	90
担当教員	藤原 恵子	授業に関わる実務経験	☒ 有（ 看護師 ） ☐ 無	

【1】授業概要

受け持ち患者の看護過程の展開として、適切な情報収集とアセスメント、看護問題の抽出、看護計画の立案、実施、評価・修正の一連のプロセスを通して、科学的看護の思考過程を学ぶ。また、医療の協働の場を体験し、看護の役割、機能について再考する機会とする。

【2】学習目標

1. 受け持ち患者に必要な援助を実施できる。
 - 1) 援助の必要性をアセスメントできる。
 - 2) アセスメントに基づいて計画を立案できる。
 - 3) 安全・安楽に留意し、援助を実施できる。
 - 4) 行った援助を振り返り、評価・修正できる。
2. 保健・医療・福祉チームの一員として、看護の機能と看護師の役割を理解できる。
3. 実習を振り返り、自己の課題を明確にできる。

【3】第1看護学科ディプロマ・ポリシーとの関連性

- 1. 人間を理解し、倫理的な態度で看護を実践する力
- 2. あらゆる対象に応じた看護を実践する力
- 3. 地域の特性を看護に生かす力
- 4. 保健・医療・福祉システムにおける連携・協働できる力
- 5. 主体的に学び続ける力

【4】授業計画

	内容	主な授業形態
1週目	・病棟オリエンテーションより病棟の特殊性を理解する。 ・看護師場面の見学から、コミュニケーションやフィジカルアセスメント、援助の実際を学ぶ。 ・受け持ち患者と関係形成しながら、情報収集をする。情報をゴードンの11パターンを用いて、根拠に基づいた分析をする。 ・ゴードンの11パターンの分析と全体関連図をもとに看護問題を抽出する。	臨地実習
2週目	・援助が必要な看護問題を1つ取り上げ、看護目標・計画を立案し、実施する。 ・ミニカンファレンスで看護計画や援助の実施について意見交換し、よりよい実践につなげる。 ・看護計画の実施を振り返り、評価・修正を行う。 ・受け持ち患者の看護の実施や看護場面の見学から、看護師の役割や機能を再考する。 ・受け持ち患者の全体像と看護援助を振り返り、看護のプロセスを理解する。 ・実習を振り返り、今後の自己の課題を明らかにする。	

【5】評価方法

基礎看護学実習Ⅱの評価基準に従い、実習での取り組み、実習記録、実習前から実習後までの学習状況から、学生・教員（実習指導者評価所見含む）で評価を行い、60点以上を合格とする。

【6】教科書

実習オリエンテーションで配布した資料および実習要綱

【7】参考書

下記の授業で使用したテキスト及び配布資料

「看護学概論」「基礎看護技術」「フィジカルアセスメント」「看護過程」「人体の構造と機能」「疾病の成り立ちと回復の促進」「栄養学」「薬理学」「病理学」

【8】受講生へのメッセージ

今までの学習内容を活かして看護過程を展開します。事前学習は不可欠です。